

2025 参院選 公示前 モニター調査 報告書

（2025年6月9日～6月19日調査）

I	目的・設計・回答状況	1
II	調査結果	
	（i）単純集計	3
	（ii）概要	5
	（iii）集計表	18
	（iv）「その他」の回答	35
III	調査票	37



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

本ホームページでは、報告書の一部を抜粋して掲載しています。長野県世論調査協会の会員の皆様には、報告書を郵送・電子メールでお届けしており、全ての調査結果をご覧いただくことができます。入会のお問い合わせは、[こちら](#)へどうぞ

I 目的・設計・回答状況

◆ 目 的

石破政権の下で昨年 10 月に初めて行われた衆議院選挙に続き、今夏、参議院選挙が行われます。有権者はコメ価格高騰といった物価高対策などへの政策をどう見ているのか、投票先を決める際にどんなことを重視しようとしているのか。当協会の登録モニターを対象に傾向を探ります。

◆ 設 計

▽調査時期 2025（令和 7）年 6 月 9 日（調査票発送）～ 6 月 19 日（回収締め切り）

▽調査対象 長野県世論調査協会に登録している県内在住の 18 歳以上のモニター
（調査協力者）664 人

※年代や性別、選挙区別の比率が県内の縮図に近づくよう選定している

▽調査方法 調査票を郵送。回答は郵送の他、インターネット、ファクスで回収

【モニター調査】 長野県世論調査協会の登録モニター（調査協力者）を対象とする郵送方式の政治意識調査。1995 年から実施している。同じ集団を対象にトレンドや変化をみることが主な目的。選挙人名簿等から調査対象者を無作為抽出する世論調査や、選挙情勢調査とは異なる。

◆ 回答状況

▽有効回答 577 人（男性 279 人 女性 296 人 その他 2 人）

▽回 答 率 86.9%

[回収方法別の内訳]（ ）内は比率

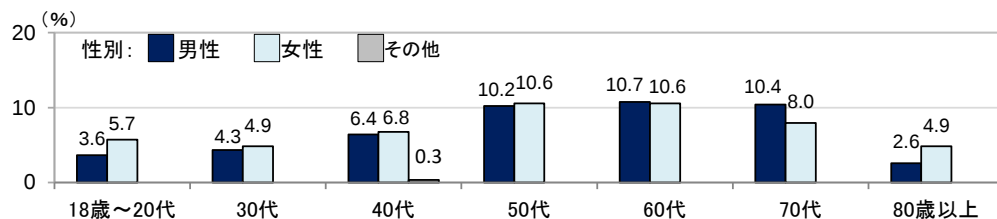
- ・ 郵送 332 人（57.5%）
- ・ インターネット 175 人（30.3%）
- ・ ファクス 70 人（12.1%）

【注】本報告書のパーセント数字は小数点第二位を四捨五入。合計が 100 にならない場合がある。

有効回答の内訳

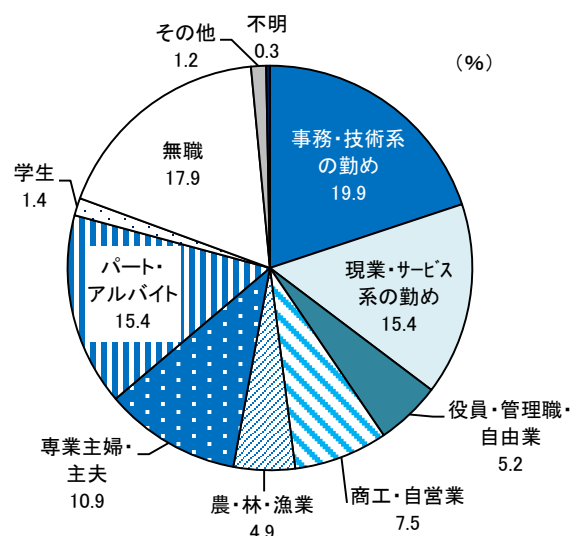
【年代別と性別】

年代別		合計	18歳～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
性別	男性	(人) 577	54	53	78	120	123	106	43
		(%) 100.0	9.4	9.2	13.5	20.8	21.3	18.4	7.5
	女性	(人) 279	21	25	37	59	62	60	15
		(%) 48.4	3.6	4.3	6.4	10.2	10.7	10.4	2.6
性別	女性	(人) 296	33	28	39	61	61	46	28
		(%) 51.3	5.7	4.9	6.8	10.6	10.6	8.0	4.9
	その他	(人) 2	-	-	2	-	-	-	-
		(%) 0.3	-	-	0.3	-	-	-	-



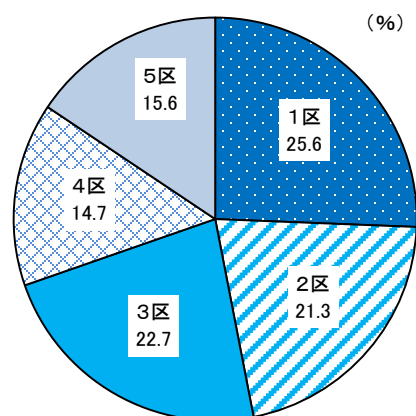
【職業別】

	(人)	(%)
事務・技術系の勤め	115	19.9
現業・サービス系の勤め	89	15.4
役員・管理職・自由業	30	5.2
商工・自営業	43	7.5
農・林・漁業	28	4.9
専業主婦・主夫	63	10.9
パート・アルバイト	89	15.4
学生	8	1.4
無職	103	17.9
その他	7	1.2
不明	2	0.3
全体	577	100.0



【選挙区別】

	(人)	(%)
1区	148	25.6
2区	123	21.3
3区	131	22.7
4区	85	14.7
5区	90	15.6
全体	577	100.0



Ⅱ 調査結果

(i) 単純集計

問1 あなたは、石破内閣を支持しますか。

	(人)	(%)
・支持する	232	40.2
・支持しない	343	59.4
・不明	2	0.3

問2 (問1で「支持する」とお答えの方にお尋ねします) 支持する最も大きな理由を次の中から選んでください。

	(人)	(%)
・他に首相に適当な人がいないから	113	48.7
・石破首相を信頼できるから	47	20.3
・自民党、公明党の連立内閣だから	31	13.4
・自民党中心の内閣だから	25	10.8
・政策が良いから	9	3.9
・その他	7	3.0

問3 (問1で「支持しない」とお答えの方にお尋ねします) 支持しない最も大きな理由を次の中から選んでください。

	(人)	(%)
・政策が良くないから	131	38.2
・石破首相を信頼できないから	102	29.7
・自民党中心の内閣だから	56	16.3
・自民党、公明党の連立内閣だから	30	8.7
・他に首相に適当な人がいるから	12	3.5
・その他	9	2.6
・不明	3	0.9

問4 あなたは、どの政党を支持していますか。

	(人)	(%)
・自民党	125	21.7
・立憲民主党	72	12.5
・国民民主党	34	5.9
・公明党	31	5.4
・れいわ新選組	21	3.6
・日本維新の会	17	2.9
・共産党	15	2.6
・参政党	8	1.4
・社民党	6	1.0
・日本保守党	6	1.0
・その他の政党・政治団体	6	1.0
・支持する政党はない	235	40.7
・不明	1	0.2

問5 7月20日投開票の日程が有力視されている参議院選挙について、お尋ねします。

A あなたは、投票に行きますか。行きませんか。

	(人)	(%)
・行く	419	72.6
・たぶん行く	105	18.2
・たぶん行かない	33	5.7
・行かない	18	3.1
・不明	2	0.3

問5-B あなたは、参議院選挙の争点は何だと思いますか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

	(人)	(%)
・物価高対策	392	67.9
・景気・雇用	250	43.3
・外交・安全保障	201	34.8
・消費税	184	31.9
・福祉・医療・介護	152	26.3
・子育て支援・少子化対策	148	25.6
・行財政改革	78	13.5
・格差是正	69	12.0
・政治家、公務員の倫理	51	8.8
・教育	41	7.1
・環境問題	40	6.9
・地方振興	23	4.0
・原発・エネルギー政策	16	2.8
・憲法改正	16	2.8
・防衛費	15	2.6
・その他	6	1.0
・不明	3	0.5

問5-C 長野県選挙区(改選数1)で、どの候補者に投票するかを決める際、あなたが、特に重視することは何ですか。次の中から、2つ以内に絞ってお答えください。

	(人)	(%)
・政策・主張	394	68.3
・実績や経験	200	34.7
・人柄や印象	192	33.3
・政党の公認や推薦、支持	84	14.6
・支持団体	68	11.8
・年齢	47	8.1
・後援会や知人からの依頼	36	6.2
・その他	5	0.9
・何とも言えない・わからない	19	3.3
・不明	3	0.5

問6 国会の勢力はどうあるべきか、あなたの考えに近いのは、次のうちどれですか。

	(人)	(%)
・与党と野党の議席数があまり変わらず緊張感が高い	390	67.6
・与党の議席数が野党を大きく上回り安定している	55	9.5
・何とも言えない・わからない	131	22.7
・不明	1	0.2

問7 野党は今後、どのような方向を目指すべきだと思いますか。あなたの印象に近いものを次の中から選んでください。

	(人)	(%)
・できるだけ共闘を強めるべきだ	180	31.2
・各党が独自の路線を貫くべきだ	133	23.1
・できるだけ与党と連立を組むべきだ	77	13.3
・できるだけ合併するべきだ	58	10.1
・何とも言えない・わからない	126	21.8
・不明	3	0.5

問8 あなたは、どのような政権の枠組みが望ましいと思いますか。

	(人)	(%)
・政界再編による新たな枠組みの政権	136	23.6
・自民、公明両党に第三極勢力が加わる政権	82	14.2
・立憲民主党など野党を中心とする政権	81	14.0
・自民、公明両党の連立政権	69	12.0
・自民党と第三極勢力の連立政権	46	8.0
・自民党単独政権	33	5.7
・その他	5	0.9
・何とも言えない・わからない	122	21.1
・不明	3	0.5

問9 米国で再び共和党のトランプ氏が大統領に就いてほぼ半年となります。関税措置など次々打ち出していますが、あなたは今後の長野県経済への影響を懸念していますか。

	(人)	(%)
・大きく懸念している	153	26.5
・ある程度懸念している	315	54.6
・あまり懸念していない	61	10.6
・まったく懸念していない	8	1.4
・何とも言えない・わからない	39	6.8
・不明	1	0.2

問10 あなたは、憲法改正について、どう思いますか。

	(人)	(%)
・時間をかけて議論すべきだ	341	59.1
・できるだけ早く改正すべきだ	145	25.1
・改正の必要はない	83	14.4
・その他	7	1.2
・不明	1	0.2

問11-1 消費税について、食料品やガソリン代など物価高対策として税率引き下げなどの見直し論が出ている一方、社会保障の財源となっているなどとして見直しに慎重な見方もあります。あなたは、消費税見直しについてどう考えていますか。

	(人)	(%)
・現在の税率を引き下げるべきだ	298	51.6
・現在の税率を維持すべきだ	182	31.5
・消費税を廃止すべきだ	61	10.6
・現在の税率を引き上げるべきだ	5	0.9
・何とも言えない・わからない	30	5.2
・不明	1	0.2

問11-2 (問11-1で「現在の税率を引き下げるべきだ」と答えた方にお尋ねします)引き下げるとしたら、どのような形がふさわしいと考えますか。

	(人)	(%)
・食料品の税率のみを引き下げる	135	45.3
・現在の税率を一律に引き下げる	93	31.2
・すべて同じ税率にして引き下げる	62	20.8
・その他	4	1.3
・不明	4	1.3

問12 政府はコメの価格高騰への対策として備蓄米を放出したり、農政改革を検討しようとしていたりしています。あなたは、政府のコメ問題への対応を評価しますか。評価しませんか。

	(人)	(%)
・大いに評価している	81	14.0
・ある程度評価している	271	47.0
・あまり評価していない	123	21.3
・まったく評価していない	80	13.9
・何とも言えない・わからない	22	3.8

問13 あなたは、石破政権の政策めぐり、国民の信を問う解散総選挙が現時点で必要だと思いますか。必要ではないと思いますか。

	(人)	(%)
・必要だ	191	33.1
・必要ではない	219	38.0
・何とも言えない・わからない	164	28.4
・不明	3	0.5

問14 あなたは、今夏の参議院選挙で投票先を選ぶ際に、SNS や動画サイトの情報を参考にしますか。

	(人)	(%)
・大いに参考にする	50	8.7
・ある程度参考にする	160	27.7
・あまり参考にしない	196	34.0
・まったく参考にしない	141	24.4
・何とも言えない・わからない	30	5.2

(ii) 概要

石破内閣を支持するか

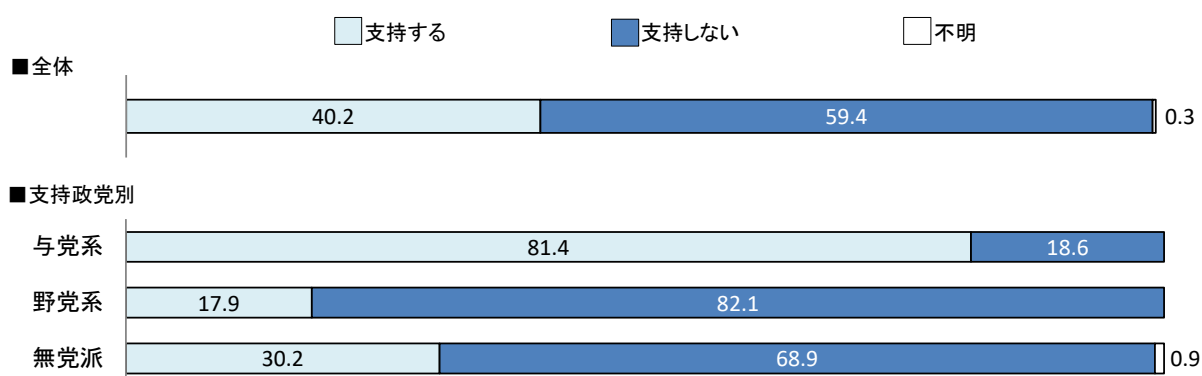
問1 あなたは、石破内閣を支持しますか。

◆支持率 40.2% ほぼ横ばい

集計表18ページ

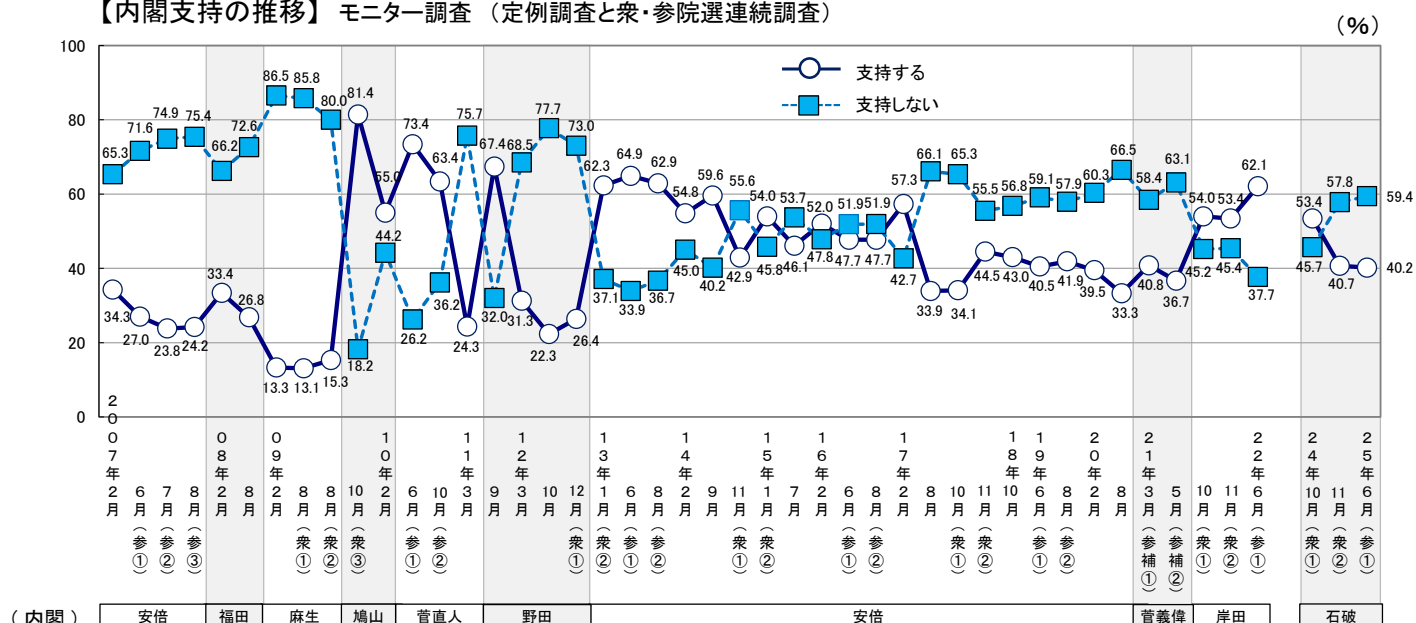
「支持する」が 40.2%で、「支持しない」は 59.4%。石破内閣発足後、本モニター調査における支持率は、前回調査となる 2024 年 11 月の衆院選後（40.7%）と比べると 0.5 ポイント下降のほぼ横ばい。

支持政党別にみると、与党系支持層では支持率が 81.4%に対し、野党系支持層では不支持率が 82.1%。無党派層では支持率 30.2%、不支持率 68.9%の結果となった。



※[与党系] 自民、公明 [野党系] 立民、維新、共産、国民、れいわ、社民、参政、保守 [無党派] 「支持する政党はない」

【内閣支持の推移】モニター調査（定例調査と衆・参院選連続調査）



※「衆①」は衆院選、「参①」「参補①」は参院選・参院補選のそれぞれ公示前・告示前の調査で、最終回は選挙後の調査

※調査期間が月をまたいだ場合、期間最終日の月を調査実施の月としている

※24年10月(衆①)は、内閣発足前に調査票を発送したため、「石破政権」への支持・不支持を聞いた

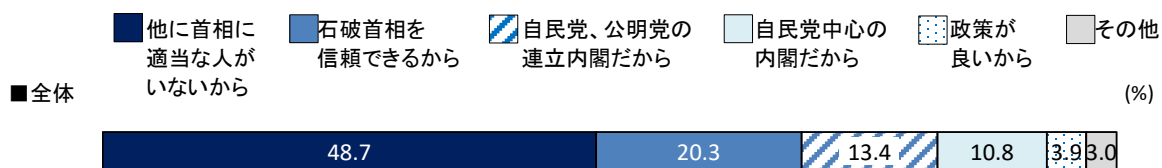
支持する理由

問2 (問1で「支持する」とお答えの方にお尋ねします)
支持する最も大きな理由を次の中から選んでください。

◆内閣支持の理由「他に適当な人がいない」48.7%

集計表19ページ

「他に首相に適当な人がいないから」との消極的理由が最多の48.7%。2番目以降は大きく離れ、「石破首相を信頼できるから」が20.3%、「自民党、公明党の連立内閣だから」が13.4%と続いた。「政策が良いから」は3.9%にとどまった。



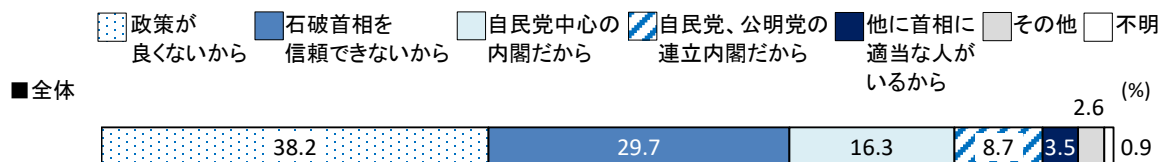
支持しない理由

問3 (問1で「支持しない」とお答えの方にお尋ねします)
支持しない最も大きな理由を次の中から選んでください。

◆内閣不支持の理由「政策が良くないから」38.2%

集計表20ページ

「政策が良くないから」が38.2%と最も多く、「石破首相を信頼できないから」が29.7%、「自民党中心の内閣だから」(16.3%)、「自民党、公明党の連立内閣だから」(8.7%)と続いた。



どの政党を支持するか

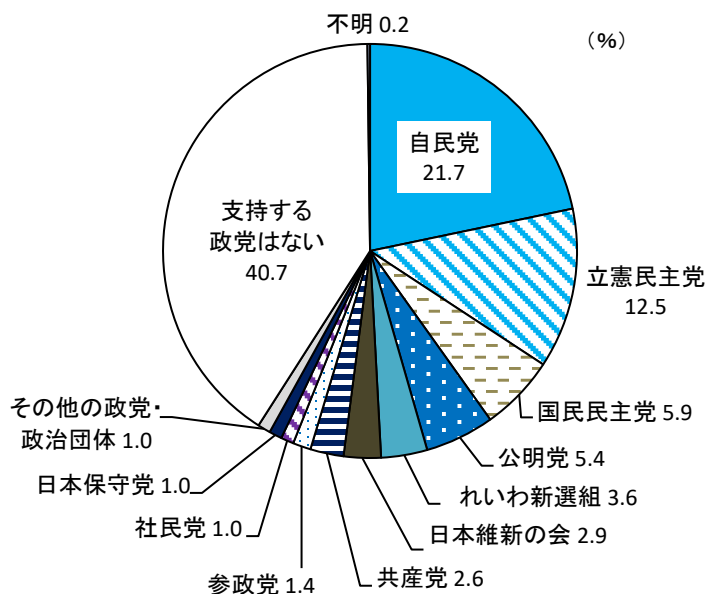
問4 あなたは、どの政党を支持していますか。

◆自民 21.7% 立民 12.5%

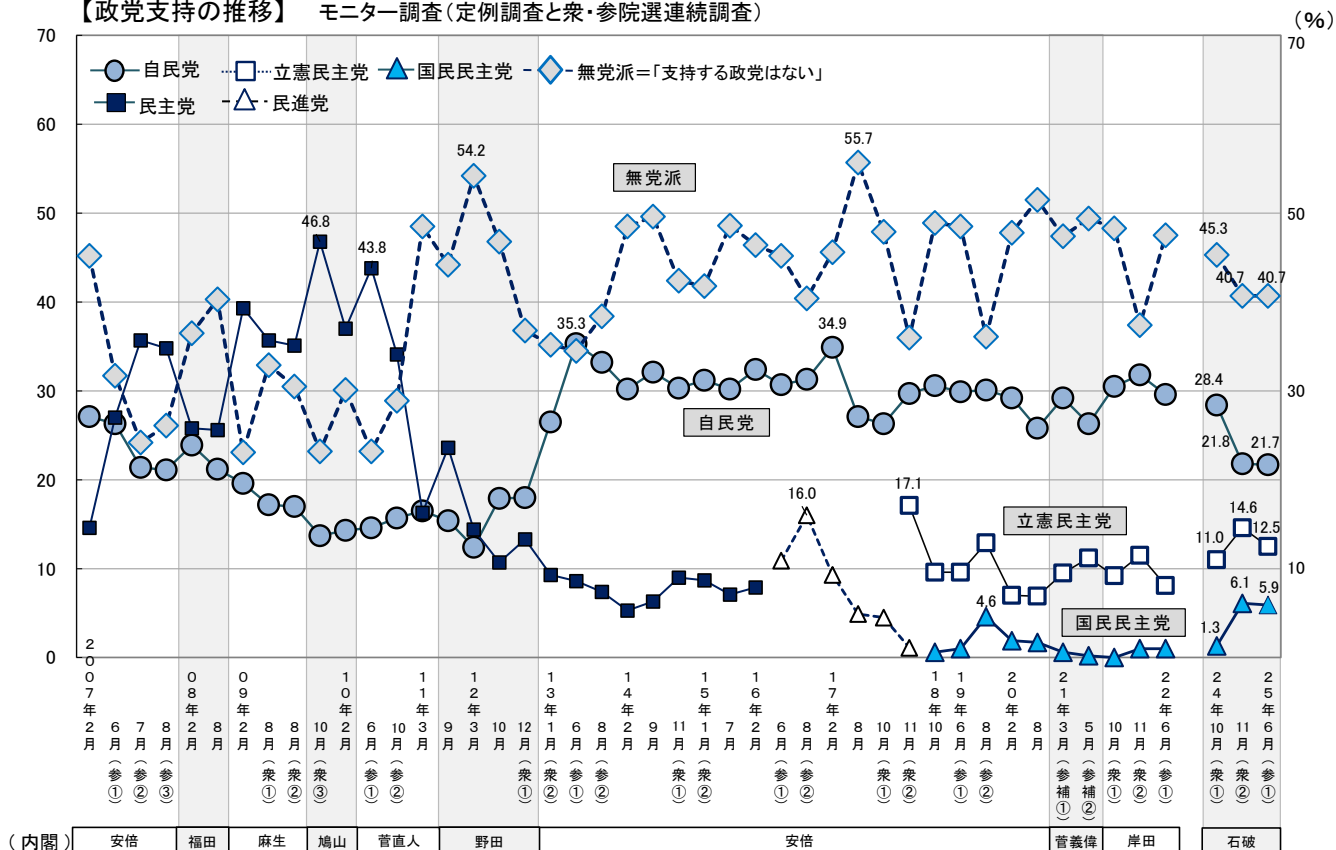
集計表21ページ

自民党が21.7%と今回もトップで、2024年の衆院選後の前回調査(21.8%)と比べるとほぼ横ばい。次いで、立憲民主党が12.5%で前回調査比2.1ポイント下降。国民民主党5.9%(前回調査比0.2ポイント下降)、公明党5.4%(同0.2ポイント上昇)、れいわ新選組3.6%(同0.5ポイント上昇)、日本維新の会2.9%(同0.4ポイント上昇)、共産党2.6%(同0.3ポイント下降)などと続く。「支持する政党はない」無党派層は40.7%(同横ばい)だった。

衆院小選挙区別では、4区が自民党支持率が30.6%と唯一3割を超え高め。2、3、5区では無党派層が4割を超えた。



【政党支持の推移】 モニター調査(定例調査と衆・参院選連続調査)



※「衆①」は衆院選、「参①」「参補①」は参院選・参院補選のそれぞれ公示前・告示前の調査で、最終回は選挙後の調査
※調査期間が月をまたいだ場合、期間最終日の月を調査実施の月としている

投票に行くか

問5 7月20日投票開票の日程が有力視されている参議院選挙について、お尋ねします。

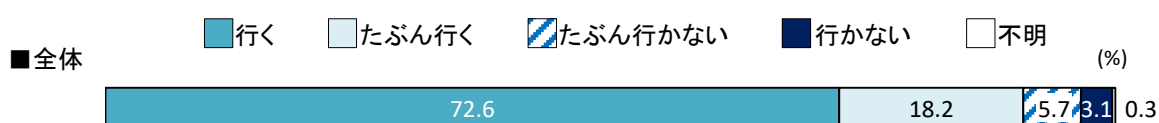
A あなたは、投票に行きますか。行きませんか。

◆投票「行く」「たぶん行く」計9割超

集計表22ページ

投票に「行く」は72.6%、「たぶん行く」が18.2%で合計90.8%。2022年の前回参院選公示前調査（計91.8%）から1.0ポイント下降でほぼ横ばい。登録モニターの選挙への関心の高さをうかがわせる。

支持政党別にみると、「行く」との明確な回答は、与党系支持層の75.6%、野党系支持層の81.6%に対し、無党派層は63.8%と低い。



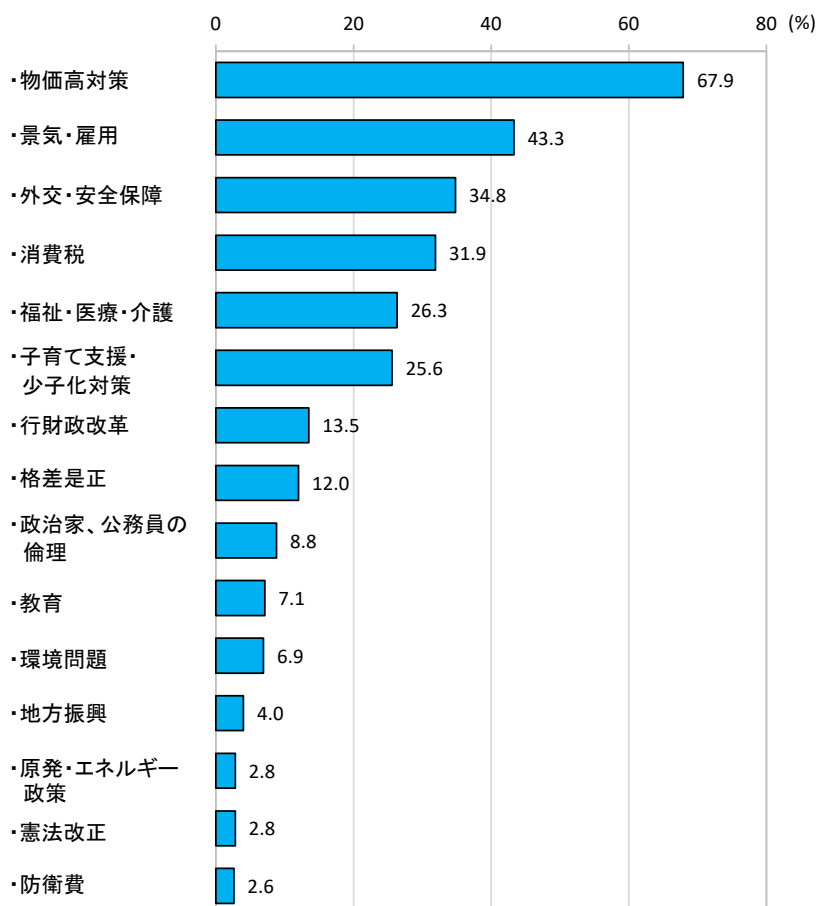
争点は

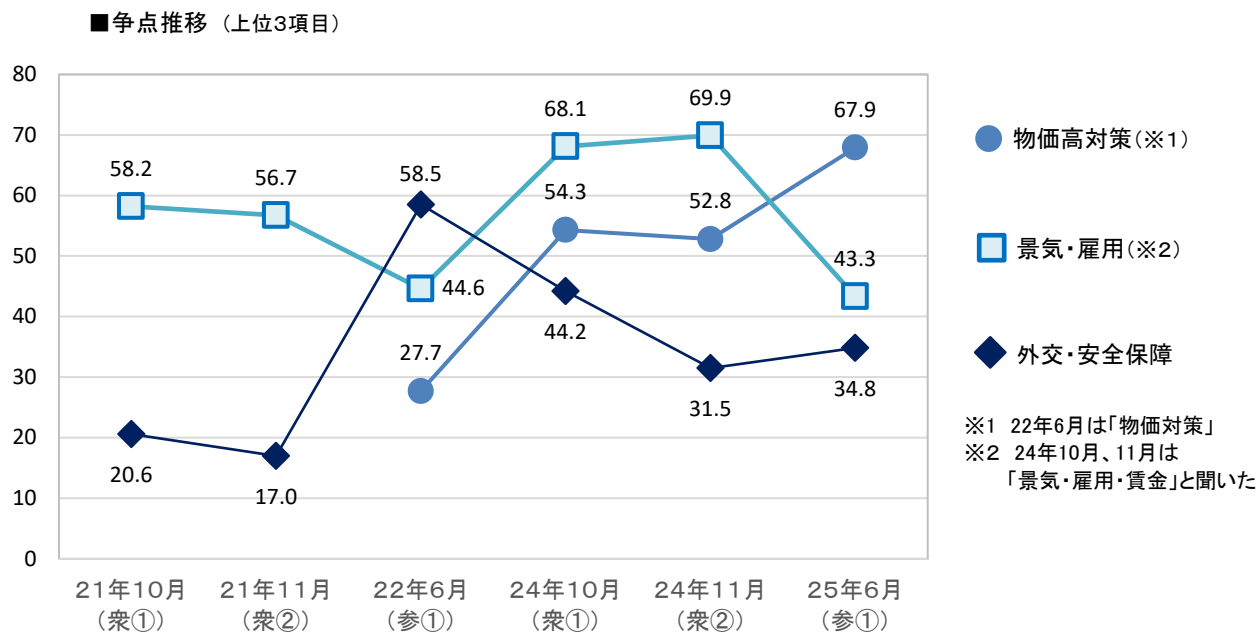
B あなたは、参議院選挙の争点は何だと思いますか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

◆トップは「物価高対策」ダントツ 67.9%

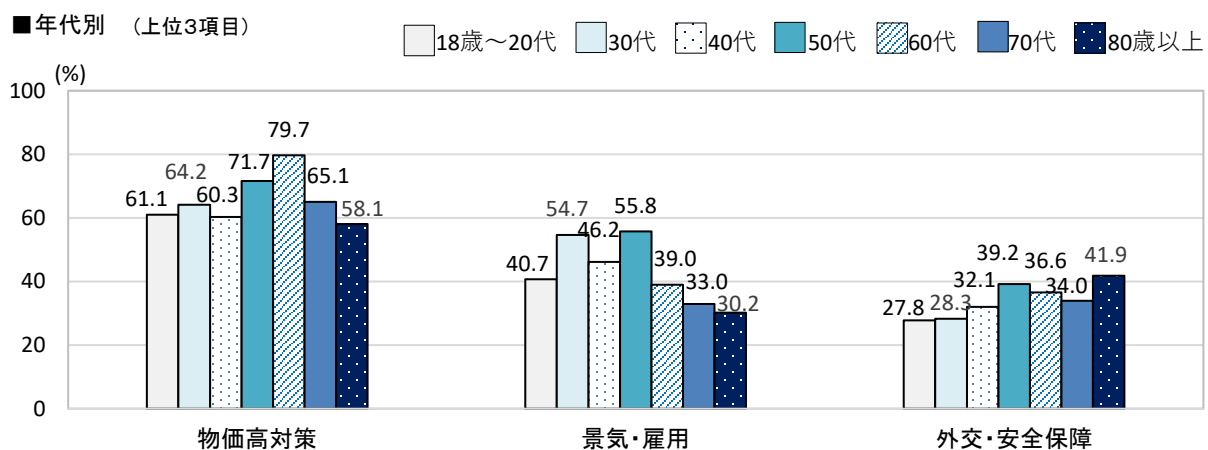
集計表23ページ

「物価高対策」を争点に挙げた人は67.9%で他を20ポイント以上引き離して唯一6割を超えた。次いで「景気・雇用」が43.3%、「外交・安全保障」(34.8%)、「消費税」(31.9%)と続く。前回調査(2024年11月)は「景気・雇用・賃金」(69.9%)がトップで、「物価高対策」(52.8%)は2番目だったが、米トランプ政権との関税協議やコメ価格高騰などが課題となる中、今回争点として大きく伸びた。





年代別にみると、「物価高対策」を争点に挙げた人は60代（79.7%）、50代（71.7%）で7割を超えたほか、全年代で最も割合が高かった。「景気・雇用」は50代が55.8%と最も高く、30代も54.7%と高かった。18歳～20代、40代も4割を超えた。一方で、60代、70代、80歳以上は39.0%、33.0%、30.2%と30%台にとどまった。「外交・安全保障」は80歳以上の41.9%が最も高く、18歳～20代、30代はそれぞれ27.8%、28.3%と低かった。



県選挙区の投票で重視すること

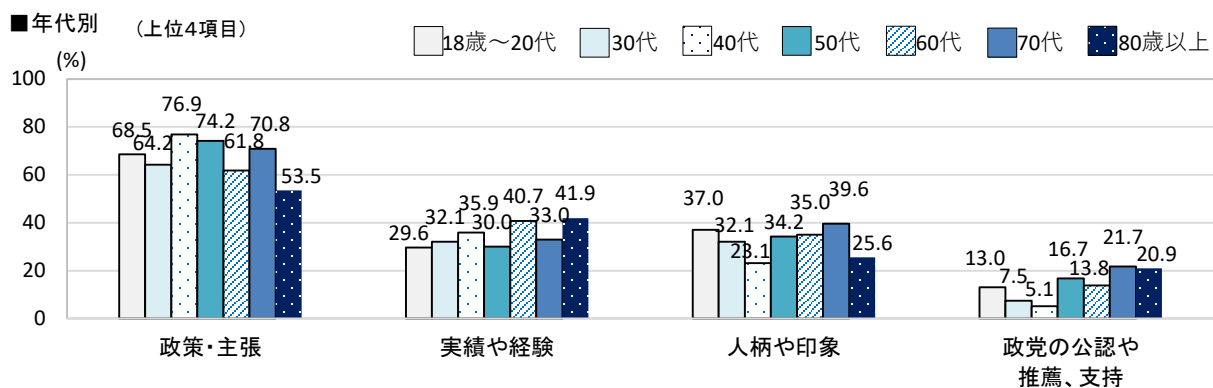
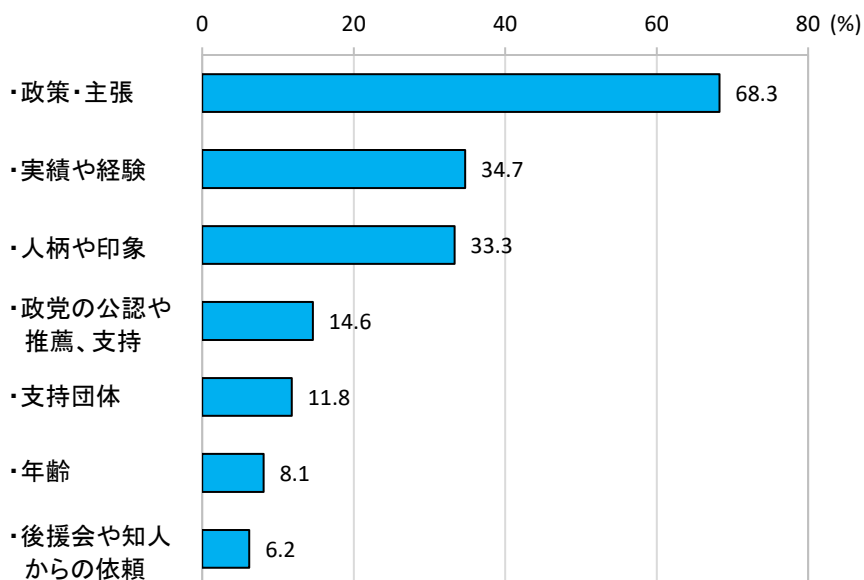
C 長野県選挙区（改選数 1）で、どの候補者に投票するかを決める際、あなたが、特に重視することは何ですか。次の中から、2 つ以内に絞ってお答えください。

集計表 24 ページ

◆「政策・主張」最多 68.3%

「政策・主張」が 68.3%とトップ。次いで「実績や経験」が 34.7%、「人柄や印象」が 33.3%で続いた。以下は 2 割に満たず、「政党の公認や推薦、支持」が 14.6%、「支持団体」が 11.8%。「年齢」が 8.1%だった。

年代別にみると、「政策・主張」は、全年代がトップに挙げ、40 代では 76.9%。「実績や経験」は、80 歳以上が 41.9%と高かった。また、「政党の公認や推薦、支持」は、18 歳～20 代、30 代、40 代がそれぞれ 13.0%、7.5%、5.1%と低かったのに対し、70 代、80 歳以上では、21.7%、20.9%と高かった。



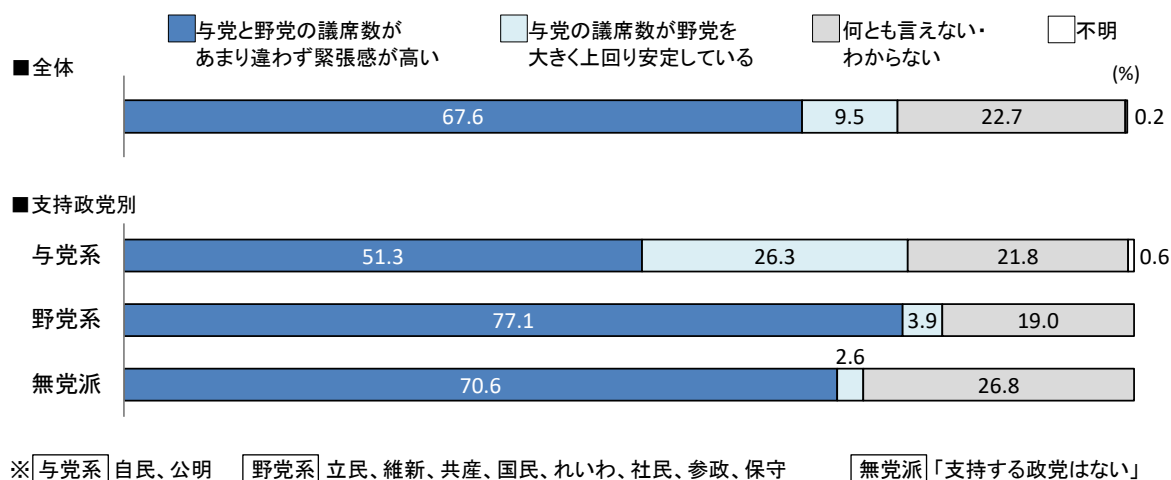
国会の勢力はどうあるべきか

問 6 国会の勢力はどうあるべきか、あなたの考えに近いのは、次のうちどれですか。

◆「与野党あまり変わらず、緊張感が高い」 67.6%

集計表 25 ページ

「与党と野党の議席数があまり変わらず緊張感が高い」を選んだ人が 67.6%と圧倒的に高く、「与党の議席数が野党を大きく上回り安定している」は 9.5%と 1 割に満たなかった。「何とも言えない・わからない」が 22.7%を占めた。



野党の今後

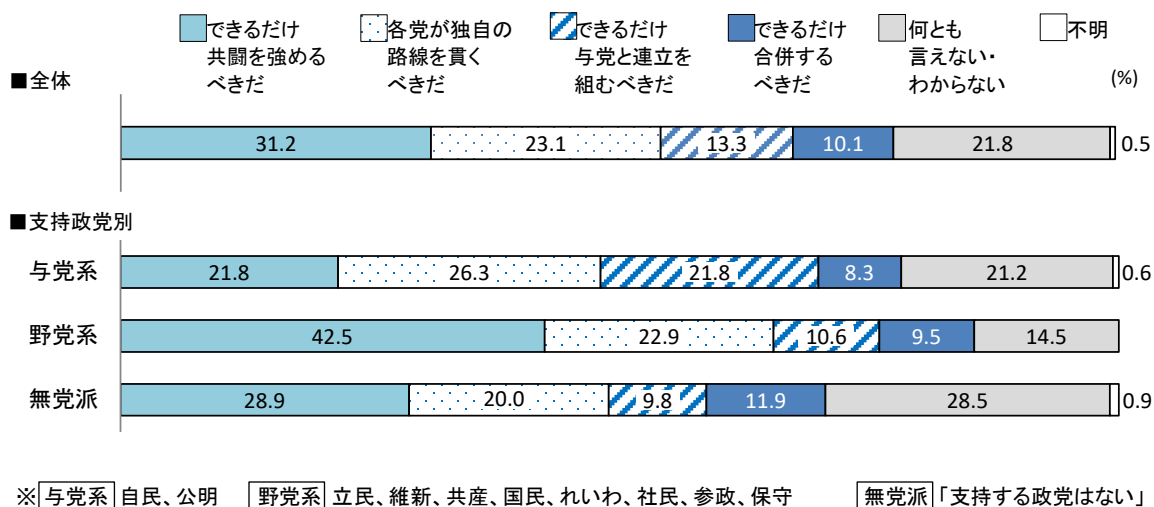
問7 野党は今後、どのような方向を目指すべきだと思いますか。あなたの印象に近いものを次の中から選んでください。

◆「できるだけ共闘を強めるべき」31.2%

集計表26ページ

石破政権が2024年衆院選で少数与党となっているだけに、野党の動向は注目点の一つだ。野党が今後目指すべき方向を尋ねたところ、全体では「できるだけ共闘を強めるべきだ」が31.2%で、「各党が独自の路線を貫くべきだ」が23.1%。「できるだけ与党と連立を組むべきだ」が13.3%、「できるだけ合併するべきだ」が10.1%だった。「何とも言えない・わからない」は21.8%を占めた。

野党系支持層でみると、「できるだけ共闘を強めるべきだ」が42.5%となり、「各党が独自の路線を貫くべきだ」(22.9%)を19.6ポイント上回った。



望ましい政権の枠組み

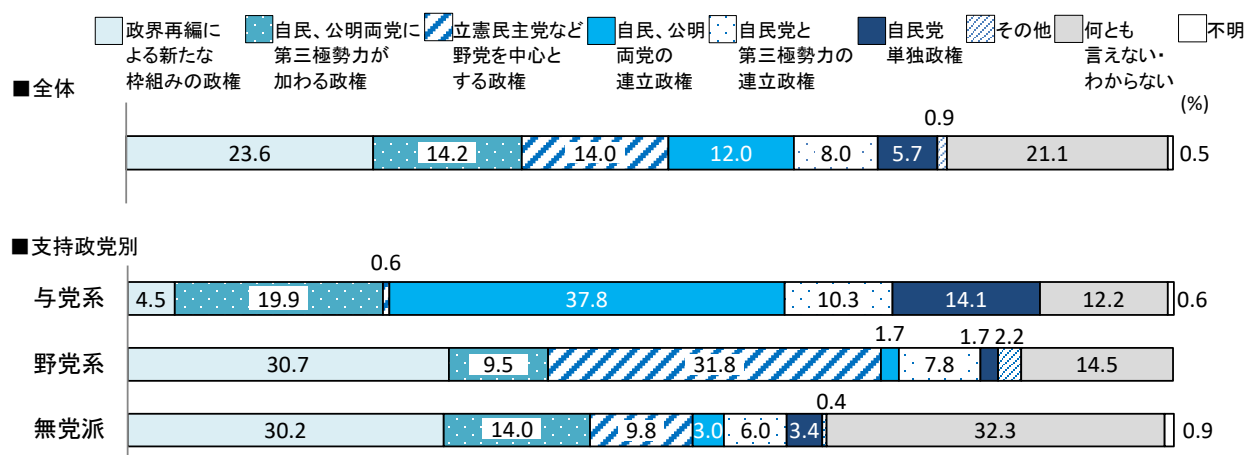
問8 あなたは、どのような政権の枠組みが望ましいと思いますか。

◆「政界再編による新たな枠組み」最多 23.6%

集計表27ページ

「政界再編による新たな枠組みの政権」が23.6%、「自民、公明両党に第三極勢力が加わる政権」が14.2%、「立憲民主党など野党を中心とする政権」が14.0%、「自民、公明両党の連立政権」が12.0%。「何とも言えない・わからない」は21.1%だった。

支持政党別にみると、与党系支持層では、現状の「自民、公明両党の連立政権」が37.8%と最多で、「自民、公明両党に第三極勢力が加わる政権」が19.9%、「自民党単独政権」が14.1%。野党系支持層では、「立憲民主党など野党を中心とする政権」が31.8%、次いで「政界再編による新たな枠組みの政権」が30.7%。「支持する政党はない」無党派層では、「何とも言えない・わからない」が32.3%と最も多く、「政界再編による新たな枠組みの政権」が30.2%、続いて「自民、公明両党に第三極勢力が加わる政権」が14.0%となった。他の選択肢は1割未満。



※【与党系】自民、公明 【野党系】立民、維新、共産、国民、れいわ、社民、参政、保守 【無党派】「支持する政党はない」

米政権の長野県経済への影響

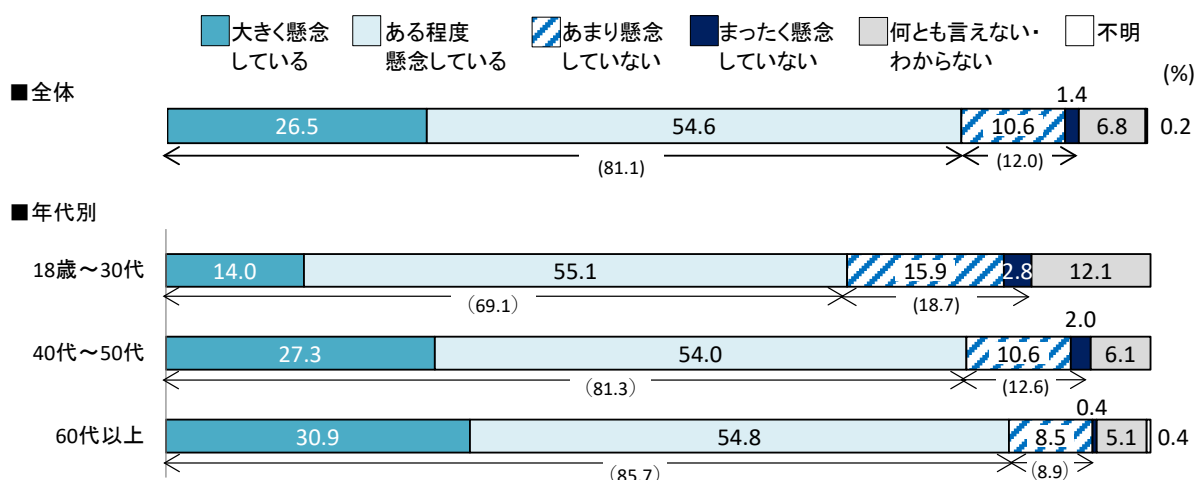
問9 米国で再び共和党のトランプ氏が大統領に就いてほぼ半年となります。関税措置など次々打ち出していますが、あなたは今後の長野県経済への影響を懸念していますか。

◆「懸念している」合計 8 割超

集計表28ページ

米トランプ政権の長野県経済への影響を聞いたところ、「ある程度懸念している」が54.6%でトップ、続く「大きく懸念している」が26.5%で、両方を合わせた「懸念している」の合計は81.1%と8割を超えた。「あまり懸念していない」は10.6%、「まったく懸念していない」は1.4%にとどまった。

年代別にみると、「ある程度懸念している」は全年代で5割を超え、「大きく懸念している」は60代以上で3割を超え高かった。「あまり懸念していない」は18歳～30代が15.9%と全体(10.6%)を上回った。60代以上は8.5%と低かった。



改憲論議

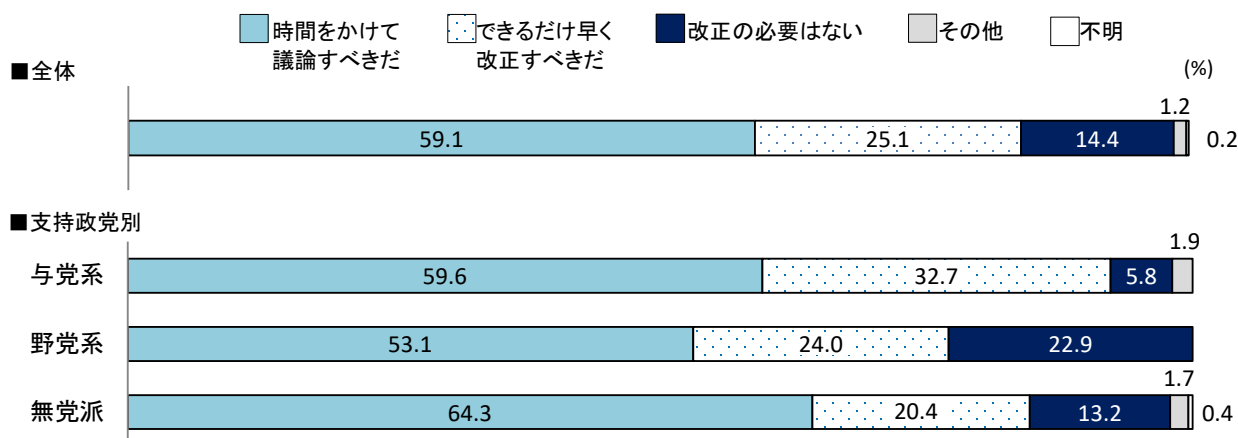
問10 あなたは、憲法改正について、どう思いますか。

◆「時間をかけて議論すべき」59.1%

集計表29ページ

憲法改正について「できるだけ早く改正すべきだ」は25.1%、「時間をかけて議論すべきだ」が59.1%、「改正の必要はない」が14.4%。

与党系支持層では「できるだけ早く改正すべきだ」が32.7%と全体より7.6ポイント高い。野党系支持層、「支持する政党はない」無党派層は、「時間をかけて議論すべきだ」がそれぞれ53.1%、64.3%で、「できるだけ早く改正すべきだ」の2倍超、3倍超だった。



※「与党系」自民、公明 「野党系」立民、維新、共産、国民、れいわ、社民、参政、保守 「無党派」「支持する政党はない」

消費税見直しどう考える

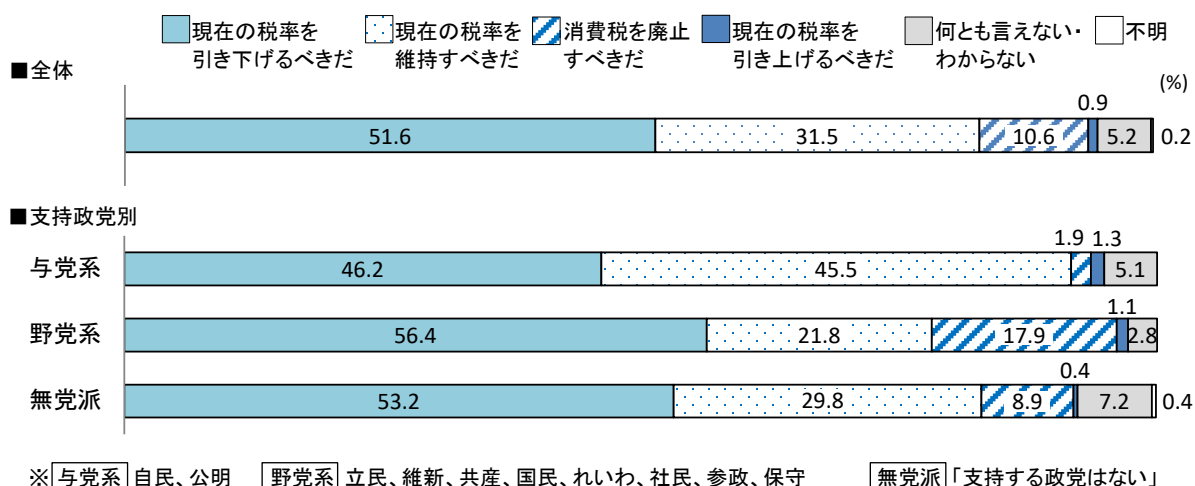
問 1 1-1 消費税について、食料品やガソリン代など物価高対策として税率引き下げなどの見直し論が出ている一方、社会保障の財源となっているなどとして見直しに慎重な見方もあります。あなたは、消費税見直しについてどう考えていますか。

◆「現在の税率を引き下げるべき」最多 51.6%

集計表30ページ

消費税の見直しについて、「現在の税率を引き下げるべきだ」が 51.6%で5割を超えた。「現在の税率を維持すべきだ」が 31.5%、「消費税を廃止すべきだ」が 10.6%となった。「現在の税率を引き上げるべきだ」は 0.9%にとどまった。「何とも言えない・わからない」は 5.2%だった。

野党系支持層は「現在の税率を引き下げるべきだ」が 56.4%を占め、「現在の税率を維持すべきだ」は 21.8%だった。そして与党系支持層でも「現在の税率を引き下げるべきだ」が 46.2%と最も高く、「現在の税率を維持すべきだ」(45.5%)が続いた。無党派層は「現在の税率を引き下げるべきだ」が 53.2%で、「現在の税率を維持すべきだ」は 29.8%だった。



消費税率を引き下げるとしたら

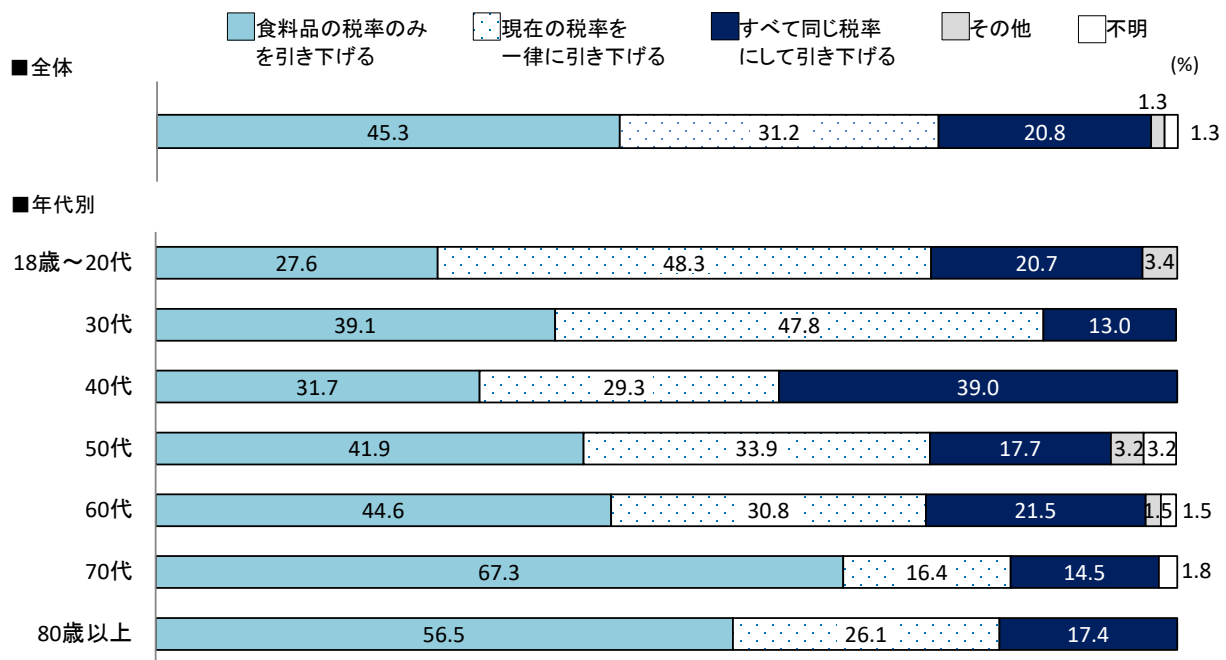
問 1 1-2 (問 11-1 で「現在の税率を引き下げるべきだ」と答えた方にお尋ねします)
引き下げるとしたら、どのような形がふさわしいと考えますか。

◆「食料品のみ引き下げる」最多 45.3%

集計表31ページ

「現在の税率を引き下げるべきだ」と回答した人に、ふさわしい形を聞いたところ、「食料品の税率のみを引き下げる」を選択した人が 45.3%とトップ。続いて「現在の税率を一律に引き下げる」が 31.2%、「すべて同じ税率にして引き下げる」が 20.8%だった。

年代別にみると、「食料品の税率のみを引き下げる」は 70 代、80 歳以上がそれぞれ 67.3%、56.5%と高かった。「現在の税率を一律に引き下げる」は 18 歳～20 代、30 代がそれぞれ 48.3%、47.8%と高く、「すべて同じ税率にして引き下げる」は 40 代が 39.0%で最も高かった。



政府のコメ問題への対応

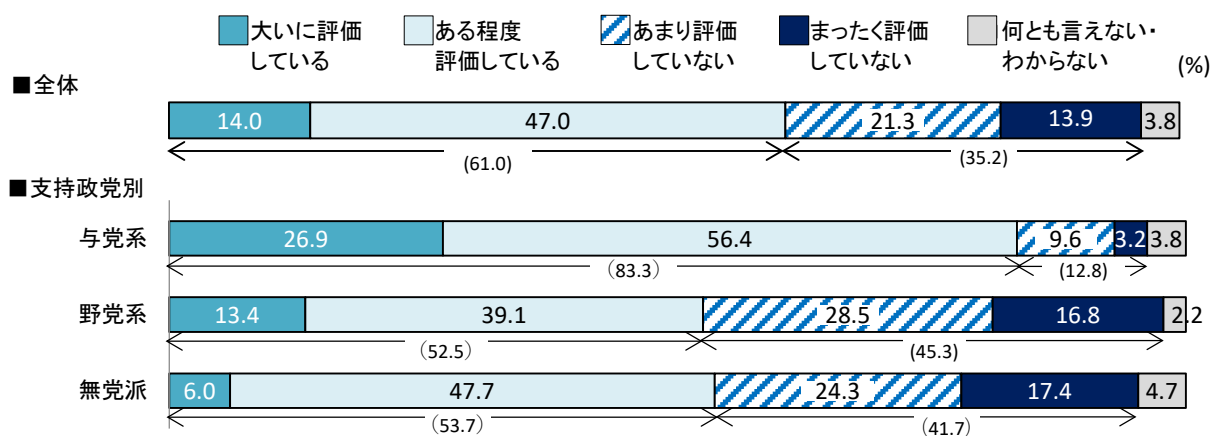
問 1 2 政府はコメの価格高騰への対策として備蓄米を放出したり、農政改革を検討しようとしていたりしています。あなたは、政府のコメ問題への対応を評価しますか。評価しませんか。

◆ 「評価している」 合計 61.0%

集計表32ページ

政府のコメ問題への対応について「ある程度評価している」が47.0%でトップ、「大いに評価している」(14.0%)を加え、「評価している」の合計は61.0%に上った。「あまり評価していない」は21.3%で、「全く評価していない」(13.9%)を加えた「評価していない」の合計は35.2%だった。

与党系支持層は「評価している」の合計が83.3%と8割を超えたほか、野党系支持層も合計52.5%、無党派層も53.7%でともに5割を超えた。



解散総選挙が必要か

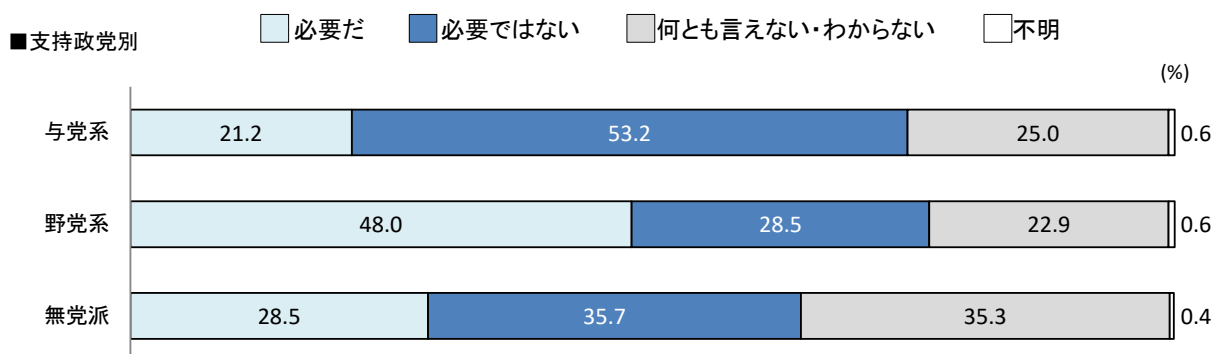
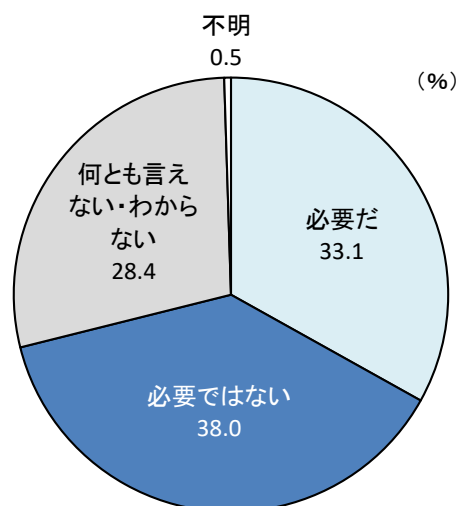
問 1 3 あなたは、石破政権の政策をめぐり、国民の信を問う解散総選挙が現時点で必要だと思いますか。必要ではないと思いますか。

◆ 「必要だ」 33.1% 「必要ではない」 38.0%

集計表33ページ

「必要ではない」が38.0%で、「必要だ」(33.1%)を4.9ポイント上回った。

「何とも言えない・わからない」が28.4%を占めた。与党系支持層は「必要ではない」が53.2%、野党系支持層は「必要だ」が48.0%でそれぞれトップ。無党派層は「必要ではない」「何とも言えない・わからない」がそれぞれ35.7%、35.3%で拮抗した。



※ 与党系 自民、公明 野党系 立民、維新、共産、国民、れいわ、社民、参政、保守 無党派 「支持する政党はない」

投票先選ぶ際にSNSを参考にするか

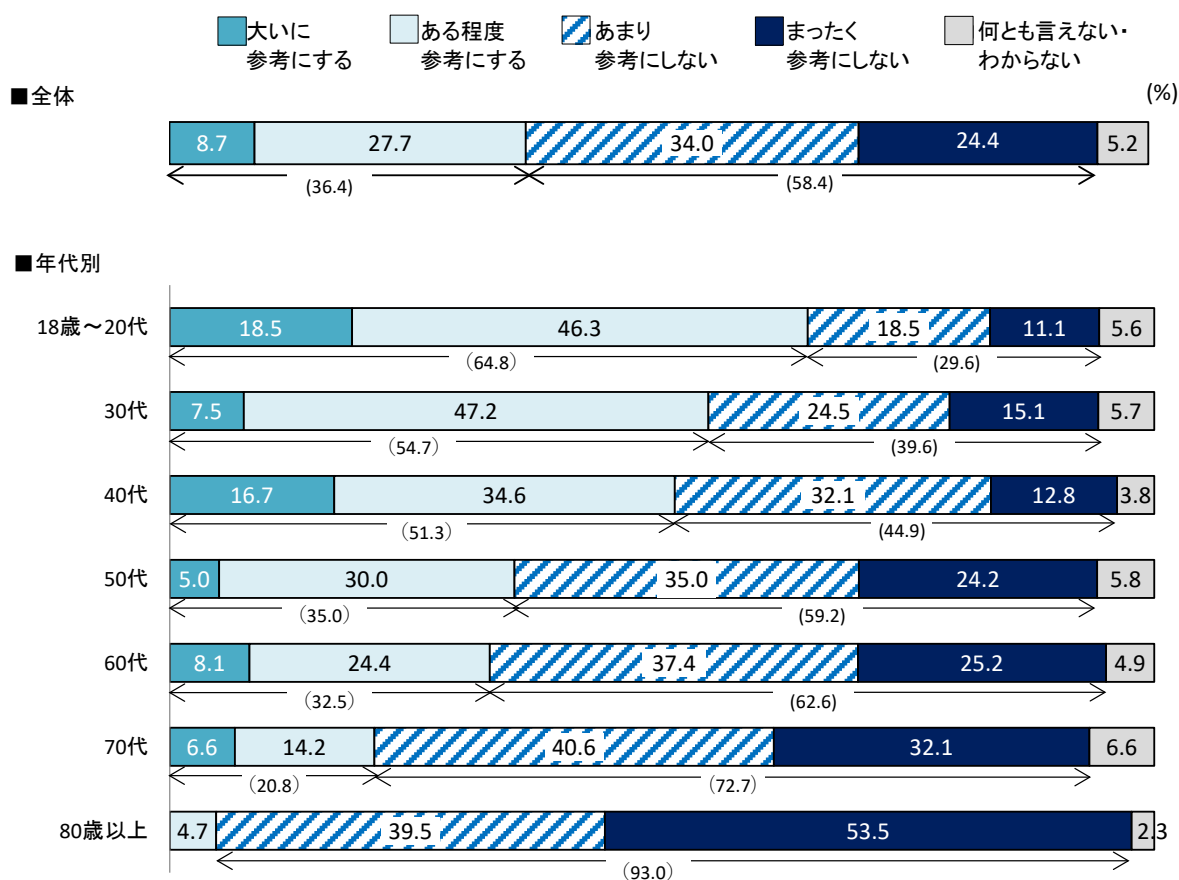
問14 あなたは、今夏の参議院選挙で投票先を選ぶ際に、SNSや動画サイトの情報を参考にしますか。

◆ 「参考にしない」計 58.4% 「参考にする」計 36.4%

集計表34ページ

「あまり参考にしない」が34.0%でトップ。「まったく参考にしない」も24.4%に上り、両方を合わせた「参考にしない」の合計は58.4%となった。一方で「ある程度参考にする」は27.7%に上り、「大いに参考にする」(8.7%)を合わせた「参考にする」の合計は36.4%となった。「何とも言えない・わからない」は5.2%だった。

年代別にみると、「大いに参考にする」と「ある程度参考にする」を合わせた「参考にする」の合計は、18歳～20代が64.8%と最も高く、次いで30代(54.7%)、40代(51.3%)が5割を超えた。一方、「あまり参考にしない」と「まったく参考にしない」を合わせた「参考にしない」の合計は、50代、60代がそれぞれ59.2%、62.6%と半数を超え、80歳以上(93.0%)、70代(72.7%)は高率となった。



Ⅲ 調査票

問 1 あなたは、石破内閣を支持しますか。

- | | | |
|---------|---|---------|
| ① 支持する | → | 問 2、4 へ |
| ② 支持しない | → | 問 3、4 へ |

☐

問 2 (問 1 で「① 支持する」とお答えの方にお尋ねします)
支持する最も大きな理由を次の中から選んでください。

- ① 石破首相を信頼できるから
- ② 政策が良いから
- ③ 自民党、公明党の連立内閣だから
- ④ 自民党中心の内閣だから
- ⑤ 他に首相に適当な人がいないから
- ⑥ その他 ()

☐

問 3 (問 1 で「② 支持しない」とお答えの方にお尋ねします)
支持しない最も大きな理由を次の中から選んでください。

- ① 石破首相を信頼できないから
- ② 政策が良くないから
- ③ 自民党、公明党の連立内閣だから
- ④ 自民党中心の内閣だから
- ⑤ 他に首相に適当な人がいるから
- ⑥ その他 ()

☐

問 4 あなたは、どの政党を支持していますか。

- ① 自民党
- ② 立憲民主党
- ③ 公明党
- ④ 日本維新の会
- ⑤ 共産党
- ⑥ 国民民主党
- ⑦ れいわ新選組
- ⑧ 社民党
- ⑨ 参政党
- ⑩ 日本保守党
- ⑪ その他の政党・政治団体
- ⑫ 支持する政党はない

☐

問 5 7月20日投開票の日程が有力視されている参議院選挙について、お尋ねします。

A あなたは、投票に行きますか。行きませんか。

- ① 行く
- ② たぶん行く
- ③ たぶん行かない
- ④ 行かない

--

B あなたは、参議院選挙の争点は何だと思えますか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

- ① 外交・安全保障
- ② 格差是正
- ③ 環境問題
- ④ 教育
- ⑤ 行財政改革
- ⑥ 景気・雇用
- ⑦ 原発・エネルギー政策
- ⑧ 憲法改正
- ⑨ 子育て支援・少子化対策
- ⑩ 消費税
- ⑪ 政治家、公務員の倫理
- ⑫ 地方振興
- ⑬ 福祉・医療・介護
- ⑭ 物価高対策
- ⑮ 防衛費
- ⑯ その他 ()

C 長野県選挙区（改選数1）で、どの候補者に投票するかを決める際、あなたが、特に重視することは何ですか。次の中から、2つ以内に絞ってお答えください。

- ① 後援会や知人からの依頼
- ② 支持団体
- ③ 実績や経験
- ④ 政策・主張
- ⑤ 政党の公認や推薦、支持
- ⑥ 年齢
- ⑦ 人柄や印象
- ⑧ その他 ()
- ⑨ 何とも言えない・わからない

D あなたは、こんどの参議院選挙で、比例代表では、どの政党、または、どの政党の候補者に投票しようと考えていますか。

- ① 自民党
- ② 立憲民主党
- ③ 公明党
- ④ 日本維新の会
- ⑤ 共産党
- ⑥ 国民民主党
- ⑦ れいわ新選組
- ⑧ 社民党
- ⑨ 参政党
- ⑩ 日本保守党
- ⑪ その他の政党・政治団体
- ⑫ まだ決めていない

7

E では、長野県選挙区（改選数１）では、どの政党の候補者に投票しようと考えていますか。

- ① 自民党
② 立憲民主党
③ 参政党
④ その他の政党・政治団体（ ）
⑤ まだ決めていない

7

問 6 国会の勢力はどうあるべきか、あなたの考えに近いのは、次のうちどれですか。

- ① 与党の議席数が野党を大きく上回り安定している
- ② 与党と野党の議席数があまり変わらず緊張感が高い
- ③ 何とも言えない・わからない

7

問 7 野党は今後、どのような方向を目指すべきだと思いますか。あなたの印象に近いものを次の中から選んでください。

- ① できるだけ共闘を強めるべきだ
- ② できるだけ合併するべきだ
- ③ できるだけ与党と連立を組むべきだ
- ④ 各党が独自の路線を貫くべきだ
- ⑤ 何とも言えない・わからない

11

問 8 あなたは、どのような政権の枠組みが望ましいと思いますか。

- ① 自民、公明両党の連立政権
- ② 自民党単独政権
- ③ 自民、公明両党に第三極勢力が加わる政権
- ④ 自民党と第三極勢力の連立政権
- ⑤ 立憲民主党など野党を中心とする政権
- ⑥ 政界再編による新たな枠組みの政権
- ⑦ その他 ()
- ⑧ 何とも言えない・わからない

問 9 米国で再び共和党のトランプ氏が大統領に就いてほぼ半年となります。関税措置など次々打ち出していますが、あなたは今後の長野県経済への影響を懸念していますか。

- ① 大きく懸念している
- ② ある程度懸念している
- ③ あまり懸念していない
- ④ まったく懸念していない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問10 あなたは、憲法改正について、どう思いますか。

- ① できるだけ早く改正すべきだ
- ② 時間をかけて議論すべきだ
- ③ 改正の必要はない
- ④ その他 ()

問11-1 消費税について、食料品やガソリン代など物価高対策として税率引き下げなどの見直し論が出ている一方、社会保障の財源となっているなどとして見直しに慎重な見方もあります。あなたは、消費税見直しについてどう考えていますか。

- | | | |
|------------------|---|--------------------|
| ① 現在の税率を引き下げるべきだ | ➡ | 問 11-2、問 12 (次頁) へ |
| ② 現在の税率を維持すべきだ | ➡ | 問 12 (次頁) へ |
| ③ 現在の税率を引き上げるべきだ | ➡ | 問 12 (次頁) へ |
| ④ 消費税を廃止すべきだ | ➡ | 問 12 (次頁) へ |
| ⑤ 何とも言えない・わからない | ➡ | 問 12 (次頁) へ |

問11-2 (問11-1で「①現在の税率を引き下げるべきだ」と答えた方にお尋ねします) 引き下げるとしたら、どのような形がふさわしいと考えますか。

- ① 現在の税率を一律に引き下げる
- ② 食料品の税率のみを引き下げる
- ③ すべて同じ税率にして引き下げる
- ④ その他 ()

問12 政府はコメの価格高騰への対策として備蓄米を放出したり、農政改革を検討しようとしていたりしています。あなたは、政府のコメ問題への対応を評価しますか。評価しませんか。

- ① 大いに評価している
- ② ある程度評価している
- ③ あまり評価していない
- ④ まったく評価していない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

☐

問13 あなたは、石破政権の政策をめぐり、国民の信を問う解散総選挙が現時点で必要だと思いますか。必要ではないと思いますか。

- ① 必要だ
- ② 必要ではない
- ③ 何とも言えない・わからない

☐

問14 あなたは、今夏の参議院選挙で投票先を選ぶ際に、SNSや動画サイトの情報を参考にしますか。

- ① 大いに参考にする
- ② ある程度参考にする
- ③ あまり参考にしない
- ④ まったく参考にしない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

☐

誠にお手数ですが、以下3項目のご記入も、よろしくお願いいたします

<性別> ① 男性 ② 女性 ③ その他

☐

<年代> ① 10代 ⑤ 50代
② 20代 ⑥ 60代
③ 30代 ⑦ 70代
④ 40代 ⑧ 80歳以上

☐

<職業> ① 事務・技術系の勤め ⑥ 専業主婦・主夫
② 現業・サービス系の勤め ⑦ パート・アルバイト
③ 役員・管理職・自由業 ⑧ 学生
④ 商工・自営業 ⑨ 無職
⑤ 農・林・漁業 ⑩ その他
(具体的に)

☐

本ホームページでは、報告書の一部を抜粋して掲載しています。長野県世論調査協会の会員の皆様には、報告書を郵送・電子メールでお届けしており、全ての調査結果をご覧いただくことができます。入会のお問い合わせは、[こちら](#)へどうぞ